2018年9月期
決算説明会

日時　2018年11月16日（金）
午前10時30分～11時30分

場所　鉄鋼会館　704
東京都中央区日本橋茅場町3-2-10

目次

◆2018年9月実績　・・・・・1
◆重点課題の達成状況　・・・・5
◆2019年9月業績予想・・・・7
◆Ｔｏｐｉｃｓ　　・・・・11

AINAVO HOLDINGS

証券コード：7539
http://www.ainavo.co.jp

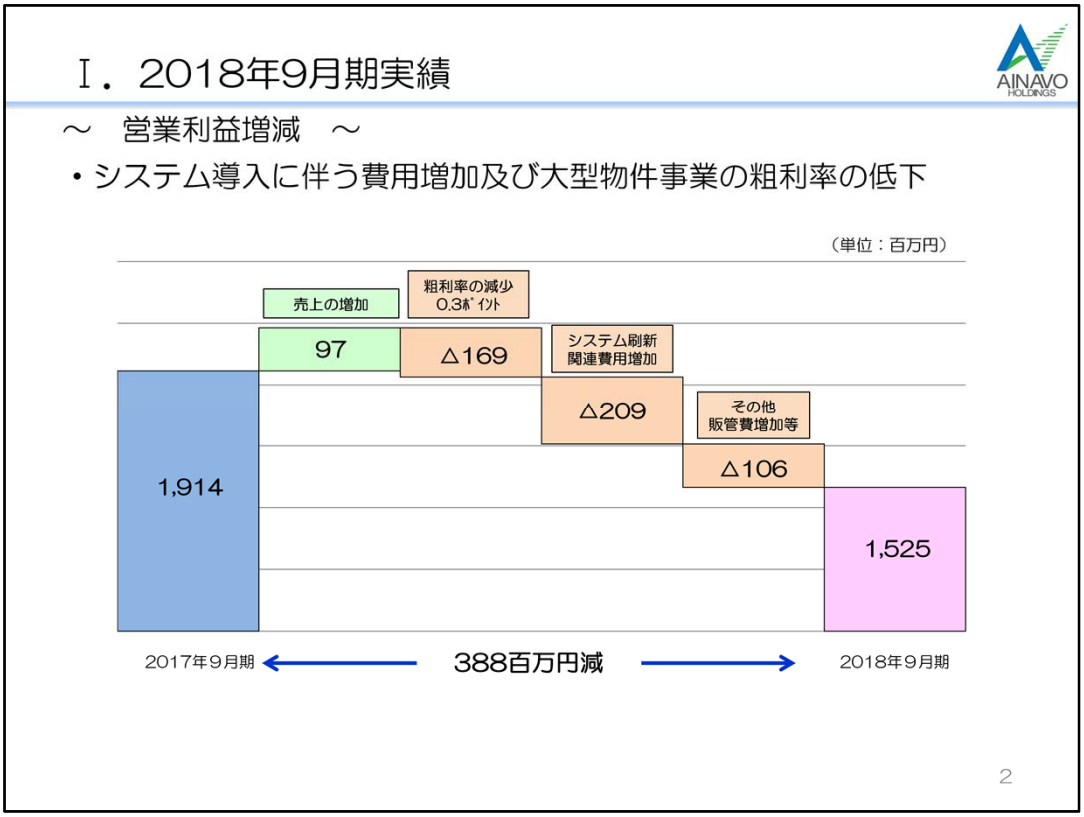
Ⅰ．2018年9月期実績

～　連結損益計算書　～

売上総利益の低下やシステム刷新に伴う費用の増加により減益

（単位：百万円）

	当期実績 '17/10-'18/9	前期実績 '16/10-'17/9	増減額	増減率
売上高	63,199	62,480	718	1.1%
売上総利益 （売上総利益率）	8,593 （13.6%）	8,665 （13.9%）	△72	△0.8%
販売費及び一般管理費 （販管費比率）	7,067 （11.2%）	6,751 （10.8%）	316	4.7%
営業利益 （営業利益率）	1,525 （2.4%）	1,914 （3.0%）	△388	△20.3%
経常利益 （経常利益率）	1,709 （2.7%）	2,101 （3.4%）	△391	△18.6%
当期純利益 （当期純利益率）	1,113 （1.8%）	1,338 （2.1%）	△225	△16.8%



【営業利益の主な増減要因】
前期と比較し、営業利益は388百万円減少。

主な要因は次の通りです。
・発注ミスや施工ミスによる粗利益率の減少　0.3ポイント減　△169百万円

・システム導入初期段階の混乱による時間外賃金や保守費用等による販管費増加
　による利益減少　△209百万円

Ⅰ．2018年9月期実績

～　セグメント別損益　～

・戸建向けサッシ販売の増加で建材販売が伸長し、戸建住宅事業は増収、増益
・大型物件事業はタイル工事の減少で減収、減益

（単位：百万円）

事業区分	品目	当期実績 '17/10-'18/9	前期実績 '16/10-'17/9	増減額	増減率
戸建住宅事業	外壁工事	14,682	14,646	36	0.2%
	住設工事	18,916	18,304	611	3.3%
	建材販売	11,650	11,086	563	5.1%
	住設販売	11,348	11,584	△236	△2.0%
	売上合計	56,597	55,621	975	1.8%
	セグメント利益	2,180	2,129	50	2.4%
大型物件事業	タイル工事	2,506	2,802	△295	△10.6%
	住設工事	4,095	4,056	38	1.0%
	売上合計	6,601	6,858	△257	△3.7%
	セグメント利益	373	590	△216	△36.8%

※システム変更により、集計区分を変更しているため前期数値を組替えております。
主な組替内容：サッシ販売　住設販売→建材販売
工事が伴う現場に納材をしている商品販売　工事→販売

3

・戸建住宅事業
売上、・利益ともに前期比微増でありました。
埼玉県八潮市にサッシ組立工場を新設したことなどによりサッシ販売が順調に推移し住宅サッシの販売を大きく伸ばすことができました。（建材販売）

・大型物件事業
タイル工事においては多額の施工（工事）ミスが発生したことにより利益が減少しました。
住設工事は空調、設備のリニューアル工事を手がける「温調技研」が好調だったことにより微増となっております。

Ⅰ．2018年9月期実績（連結）

～　連結貸借対照表　～

（単位：百万円）

主な項目	当期実績 '18/9	前期実績 '17/9	増減額	増減率
資産の部	32,604	32,996	△392	△1.2%
現金及び預金	9,693	9,639	53	0.6%
受取手形・完成工事未収入金等	12,192	12,275	83	0.7%
未成工事支出金	1,355	1,521	△166	△10.9%
負債の部	13,552	14,703	△1,150	△7.8%
支払手形・工事未払金等	6,090	6,456	△366	△5.7%
ファクタリング未払金	3,456	3,730	△274	△7.4%
未成工事受入金	864	726	137	19.0%
純資産の部	19,052	18,293	758	4.1%
利益剰余金	16,483	15,763	720	4.6%
負債・純資産合計	32,604	32,996	△392	△1.2%
自己資本比率	58.4%	55.4%	3.0	－

連結貸借対照表につきましては大きな変化はございませんが、
不要な遊休不動産の土地の売却が実現できました。
それに伴う特別損失を計上しております。

Ⅱ．重点課題の達成状況

（単位：百万円）

	サイディング	サイディング プレカット	木質建材	サッシ
2017年9月期	2,684	545棟	1,347	1,764
2018年9月期	2,716	600棟	1,389	2,101
前年同期比	101.2%	110.1%	103.2%	119.1%
2018年9月期目標	3,650	1,000棟	1,840	3,000
達成率	74.4%	60.0%	75.5%	70.0%

・サイディング／サイディングプレカット
サイディング工事は比較的利益の少ない工事ですが、当社では自社工場内でサイディング材をプレカット、現場では組立作業を中心とすることで効率的な施工が可能となり、またコーナー役物加工も行うよう設備投資を実施し利益が出るようになってまいりました。職人不足の状況のなか生産性が上がってきたと実感しております。

・木質建材
住宅内のドア、作り付けの棚等が順調に推移してまいりました。

・サッシ
大手サッシメーカーの業績が苦戦している市場環境のなか、当社のサッシ売上高が伸長したことは市場シェアが増え順調に推移していると実感しております。

Ⅱ．重点課題の達成状況

（単位：百万円）

	ブランド事業		ＺＥＨ／ゼロエネ／認定住宅	新規顧客開拓
	マリスト（タイル）	アルティス（システムバス）		
2017年9月期	1,711	388	－	1,611（695件）
2018年9月期	1,553	335	33件	1,720（684件）
前年同期比	90.8%	86.3%	－	106.8%（98.4%）
2018年9月期目標	1,660	374	200件	1,650（700件）
達成率	93.6%	89.5%	16.5%	104.2%（97.7%）

6

・ブランド事業（マリスト／アルティス）

名古屋に営業所を開設し少しづつではありますが伸びてきております。このブランド事業につきましては高収益事業モデルとして期待しております。

・ZEH／ゼロエネ／認定住宅

国の定める基準に準拠するためには高い技術力が必要であることを再認識し、改めて解決策を立案しております。

・新規顧客開拓

継続して行っており、目標金額についても質の高い営業が展開できていると考えております。

Ⅲ．通期業績予想

～　連結損益計算書　～

・売上高698億円（前期比10.4%）の増収
・営業利益18億50百万円（前期比21.3%）の増益

（単位：百万円）

	当期予想 '18/10-'19/9	前期実績 '17/10-'18/9	増減額	増減率
売上高	69,800	63,199	6,601	10.4%
戸建住宅事業	62,800	56,597	6,203	11.0%
大型物件事業	7,000	6,601	399	6.0%
営業利益	1,850	1,525	325	21.3%
（営業利益率）	（2.7%）	（2.4%）	－	
経常利益	2,060	1,709	351	20.5%
（経常利益率）	（3.0%）	（2.7%）	－	
当期純利益	1,290	1,113	177	15.9%
（当期純利益率）	（1.8%）	（1.8%）	－	

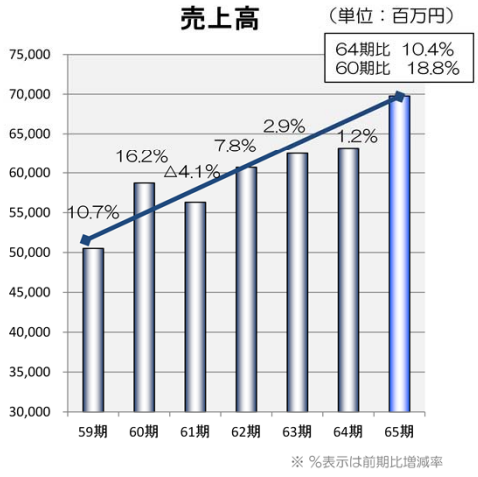
売上高698億円（前期比10.4%）の増収
営業利益18億50百万円（前期比21.3%）の増益

厳しい市場環境の中、営業、施工ともに効率よく、新システムを活用し利益を確保していきたいと考えております。

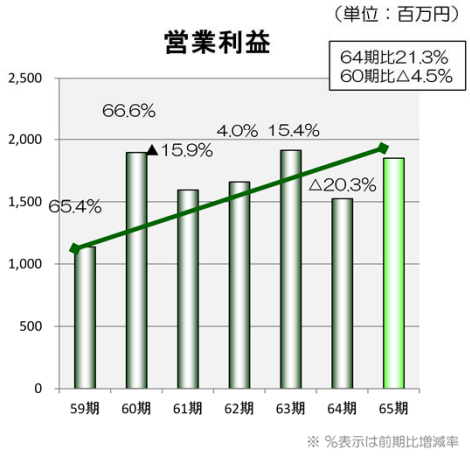
Ⅲ．通期業績予想

～　業績推移　～

・売上高698億円（前期比10.4%）の増収
・営業利益18億50百万円（前期比21.3%）の増益



※ %表示は前期比増減率



※ %表示は前期比増減率

8

消費増税での需要がどこまで伸びてくるのか不透明な状況。

Ⅲ．通期業績予想

～　事業会社別業績予想　～

（単位：百万円）

	アベルコ		インテルグロー		温調技研		今村（新規連結）	
	当期予想 '18/10-'19/9	前期実績 '17/10-'18/9	当期予想 '18/10-'19/9	前期実績 '17/10-'18/9	当期予想 '18/10-'19/9	前期実績 '17/10-'18/9	当期予想 '18/10-'19/9	前期実績 '17/10-'18/9
売上高	52,690	50,730	11,130	10,601	2,200	2,001	4,000	－
営業利益	1,450	1,174	200	136	200	214	0	－
営業利益率	2.8%	2.3%	1.8%	1.3%	7.3%	10.7%	－	－
経常利益	1,540	1,262	290	226	200	215	20	－
経常利益率	2.9%	1.5%	2.6%	2.1%	7.3%	10.8%	0.2%	－
当期純利益	950	780	190	176	130	155	10	－

※連結会社相互間の内部売上高を消去しておりません。

9

・2019/9期より関西圏の新規連結会社 「㈱今村」 が追加となります。

・「温調技研㈱」は2018/9期同様、職人不足・施工力低下が業界の中で進んでいることなどが背景にあり、受注の段階から荒利益が高く、高い営業利益率を期待しております。

Ⅲ．通期業績予想

～　重点課題　～

	サイディング	サイディングプレカット	木質建材	サッシ
2018年9月期	2,716	600棟	1,389	2,101
2019年9月期目標	3,990	1,000棟	1,800	3,500
前期比	146.9%	166.7%	130.0%	166.6%

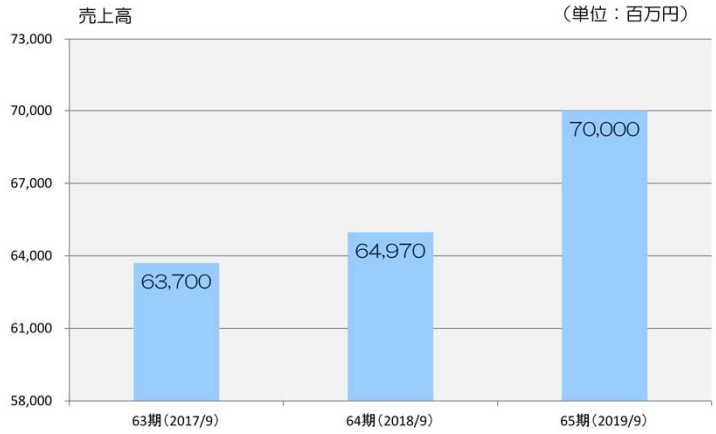
	ブランド事業		ZEH／ゼロエネ／認定住宅	新規顧客開拓
	マリスト（タイル）	アルティス（システムバス）		
2018年9月期	1,553	335	33件	1,720（684件）
2019年9月期目標	1,770	345	100件	1,650（610件）
前期比	114.0%	103.1%	303%	95.9%（89.2%）

10

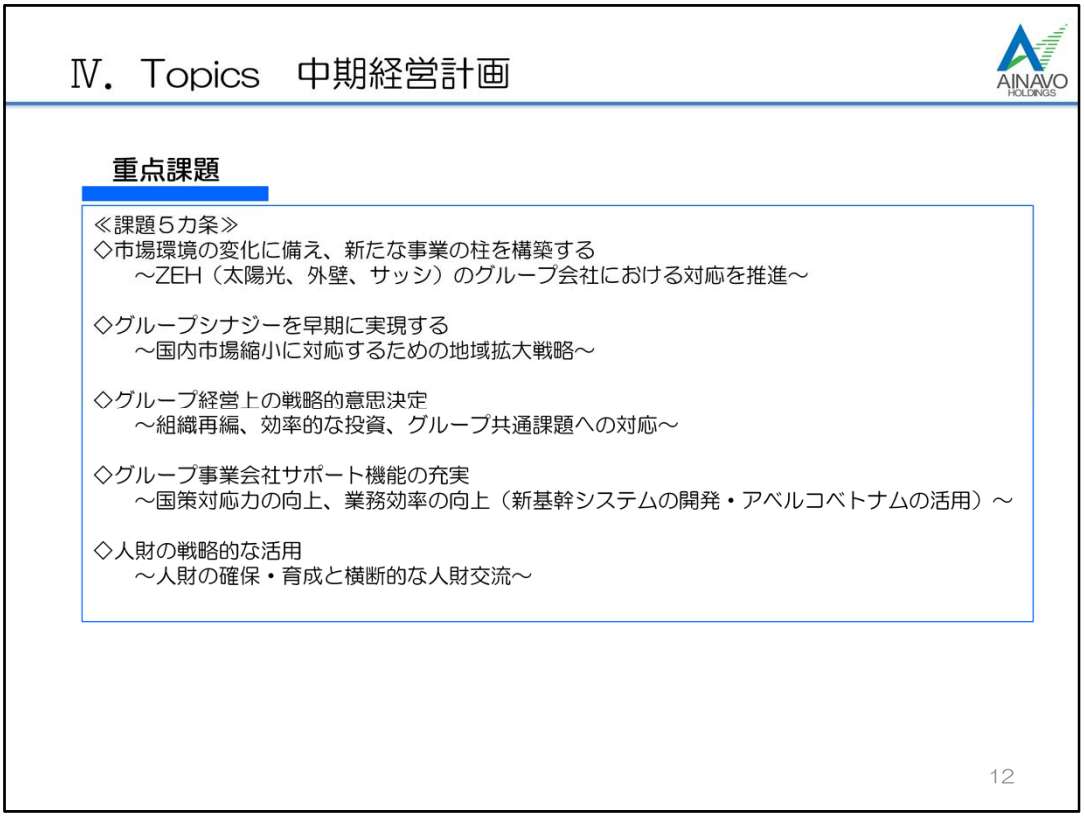
継続して重点課題として取り組み、目標を達成できるよう取り組んで参ります。

Ⅳ. Topics　中期経営計画

売上高	700億円
営業利益	19億円
営業利益率	2.7%



中期経営計画の最終年度となります。
設定した数値を達成できるよう、グループ一丸となって進んでまいります。



ZEH／ゼロエネ／認定住宅
　今までのノウハウ、新しい商品・施工を武器に国の基準をクリアできる体制を整えてまいります。

業務効率の向上
　新しいシステム、アベルコベトナムを有効活用し営業強化をしてまいります。

質疑応答

質問1

関西圏の会社「㈱今村」をＭ＆Ａにより取得しましたが、将来的な業績に与える影響はどのように考えているのか教えてほしい。

回答1

関西圏での㈱今村のブランド力を活かし、㈱アベルコ大阪支店と㈱今村とのシナジー効果により関西圏で100億円を目標としております。

質問2

７－９月の3ヶ月は住宅業界全体は厳しかったと聞いていますが、当社の3ヶ月だけを見ると好調であったが、要因を教えてほしい。

回答2

職人不足を背景に、元請側での工程管理がしっかりされているため、受注管理、工程管理、原価管理の着実に行うことが重要で工事が中心の当社の売上は月ごとの変動が少なく平準化され生産性が上がっていることが要因と思われます。

参考資料～会社概要～

会社名	株式会社アイナボホールディングス
本社所在地	東京都足立区鹿浜三丁目３番３号 TEL 03-4570-1316（代表）
設立	1955年3月
資本金	896,350,000円
代表取締役	阿部　一成
従業員数（連結）	728人　（2018年9月現在）
事業内容	建築資材の販売及び施工
グループ企業	株式会社アベルコ 温調技研株式会社 株式会社インテルグロー AVELCO VIETNAM Co.,Ltd.

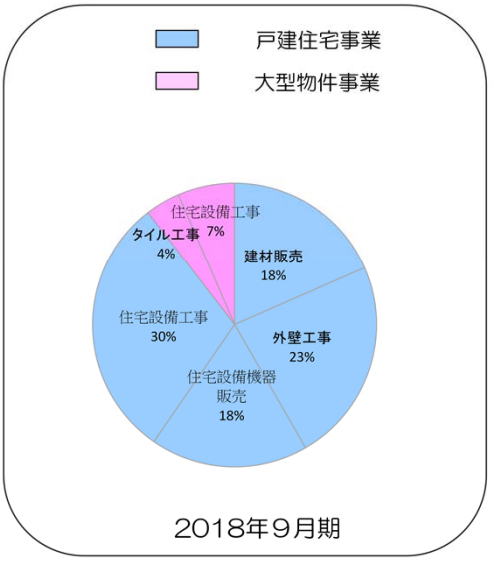
参考資料～事業内容～

戸建住宅事業

戸建住宅における
内外装タイル・床タイル・エクステリア・
その他タイル関連商品の販売及び工事、
浴槽・給湯器・システムキッチン・衛生設備・太陽光発電システム・サッシ・その他住宅設備関連商品の販売及び工事、高級浴槽の販売及び工事、
リフォーム工事

大型物件事業

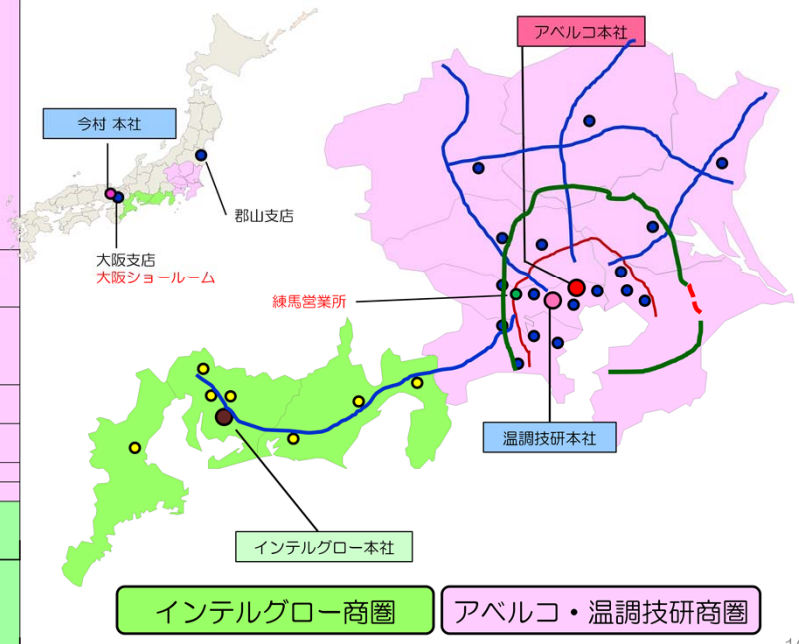
ビル・マンション等の大型物件における
内外装タイル・床タイル・石材の工事、
乾式工法による大型セラミックタイル・
ルーバーの工事、ユニットバス・システム
キッチン・その他住宅設備の工事、空調・
衛生設備の工事



2018年９月期

参考資料～衛星拠点の充実～

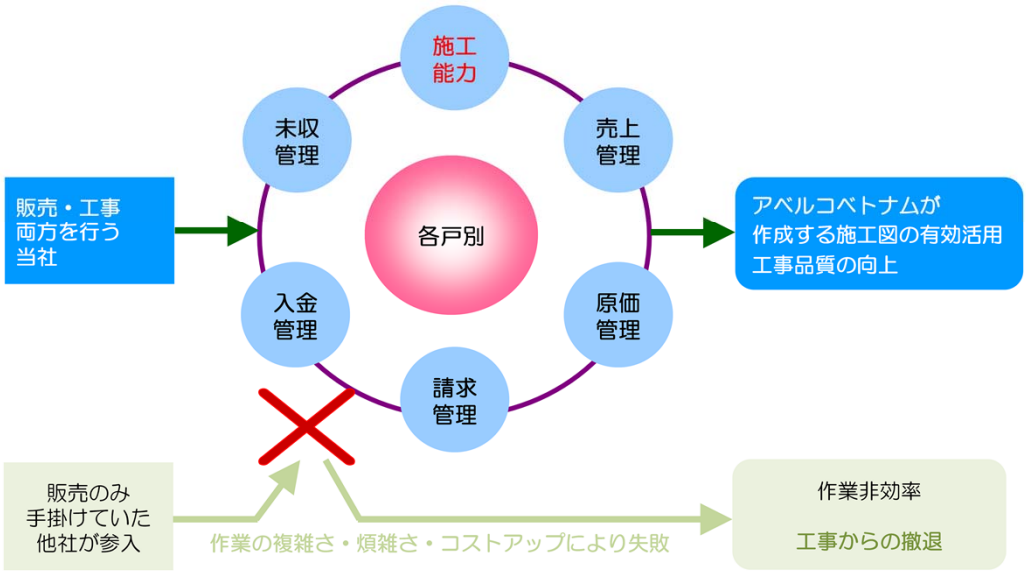
都道府県	拠点名
東京都	東京支店
	東京建材支店
	東京住設支店
	東京ＴＳ支店
	東京ＬＩＶＥ支店
	城南支店
	東京南営業所
	西東京支店
	練馬営業所
	東京東営業所
	東京サッシ支店
	温調技研
	六本木ＳＲ
千葉県	千葉支店
	千葉中央支店
	船橋営業所
神奈川県	神奈川支店
	湘南支店
	相模原営業所
	横浜ＴＳ営業所
埼玉県	埼玉支店
	埼玉西営業所
茨城県	水戸支店
	つくば営業所
群馬県	群馬支店
栃木県	栃木支店
静岡県	静岡支店
	浜松営業所
	静岡東営業所
愛知県	愛知第１支店
	愛知第２支店
	愛知第３支店
	豊田営業所
	愛知ＳＣ支店
三重県	三重営業所



インテルグロー商圏　アベルコ・温調技研商圏

参考資料～当社の強みと特徴～

【隠れた高い参入障壁】



注意事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、当資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われないようにお願いいたします。

お問い合わせ先
株式会社アイナボホールディングス
TEL：03-4570-1316
E-mail：air@ainavo.co.jp